

# Interview

開発途上国の農業振興と SDGs  
—地域おこし・国おこしと JD の国際的視野—

2021.2.9

## Interviewer

三輪 真一 特任教授

岐阜大学グローバル推進機構特任教授、グローバル人材の就職促進と地域・産業界間の国際連携を担当。東京工業大学材料科学専攻（修士）を終了後、セラミックス関連企業に就職。構造・機能材料開発、製品開発に従事。海外系列会社経営を経験後、岐阜大学へ。経歴を活かして地域企業および海外連携大学とその地域企業等との事業構想&連携を推進中。

## Mr. Yasuo Taniguchi

X

## Mr. Shinichi Miwa



### 谷口 泰央 氏

株式会社ロングターム・インダストリアル・ディベロップメント  
代表取締役 社長

#### Interviewee Introduction

1998年東京大学大学院数理科学研究科修了。同年、三井住友銀行入行。事業企画、商品開発に従事。シンガポール勤務を経て、信託部グループ長、上席推進役として受託審査、新規事業を推進。2020年、ロングターム・インダストリアル・ディベロップメント社を創業。

三輪 岐阜大学までお越しいただきまして、大変ありがとうございます。谷口様は、SMBC に勤められた後、新たな事業として、株式会社ロングターム・インダストリアル・ディベロップメントという会社を起こされているということで、特に FinTech (フィンテック)\* の関係で仕事をされているとお聞きしています。まず、谷口様が現在手がけている事業の概要を御説明いただけますでしょうか。

谷口 発展途上国の農業で、AI を含んだ IT を使った「デジタル農協」をつくることをやっています。日本と全然違って、発展途上国では農家が融資を受ける機会がないということがあります。日本だと、貯蓄のある農家は結構いらっしゃいまして、耕作を開始するときの種や肥料の代金を借りなくても済みますが、発展途上国だと貧しい方が多いので、種や肥料を買うお金を誰かから借りなければなりません。しかし、貸してくれる金融機関がなく、ミドルマンという仲買人から借りている現状

があります。金利は非常に高く、100%、200%を超える金利です。また、苦勞してつくった作物を売るときにも、ミドルマンに買ったたかれているという状況も起こっています。

日本であれば、お金が必要なときに、農家は農協から借り入れ、作物を売るときにも農協が買い上げてくれます。私どもの会社では、農協に代わる機能を、IT、AI を使ってデジタルで発展途上国の農家に提供していることをやっています。

三輪 新興国の農業を成長させようとする、何かのてこを入れる必要がある。そういう面で、今お聞きした谷口様の事業というのは、新興国における農家が新事業を始めたり拡大する際に非常に大きな支えになるのではないかなと思います。そういうことが実現できれば、SDGs にある不平等をなくし、新興国の女性の地位を上げるとか、教育を均等に受けるとか、高い教育を受けるとか、また働きがいがある場を提供するというところに繋がっていくので、非常

\*金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語

に貢献ができるのではないかなと考  
えております。

谷口 まさしく先生がおっしゃられた  
ようなところを目指しています。  
先ほど申し上げたとおり、高い金利  
での借金と農作物が買いたたかれる  
こと、この2つが原因になって、農  
家の所得が非常に低くなっています。  
これを、私共のプラットフォームで、  
安い金利で貸し、市場価格に  
近い値で買い上げると、農家の所得  
が一気に上がるのです。これによっ  
て、SDGs の1つである貧困が解消  
します。さらに、それによって教育  
に回すお金も増えてくる。あとは、  
ミドルマンからお金を借りるのも、  
作物を売るのも、かなり多くのペ  
ーパーワークが必要だったのですが、  
我々は、全部デジタルでやりますの  
で、時間的余裕ができますので、そ  
の分家事を手伝ったりもできるよう  
になります。スマホさえあれば、こ  
のプラットフォームに参加できま  
すし、女性も安心してここで活躍し  
ていただけます。フードバリュー  
チェーンが効率化されて消費者価格  
が下がり、消費者にもいろいろな食  
品が行き渡るようになります。これ

により栄養改善、飢餓撲滅、こう  
いった波及効果を狙っています。

三輪 どうもありがとうございます。  
今、岐阜大学としては独特  
な教育システム、ジョイント・デ  
グリー（JD）プログラムがスター  
トしまして、国際的な協働教育で  
学生を育てているという最中でご  
ざいます。ここで学んだ学生は、  
幅広いグローバルな視野を持って  
物事を進められるようになると  
思っています。谷口様が世界で展開  
されているビジネスにとって、ど  
んな学生を希望されるのか、大学  
側アクティビティーと合うのかど  
うか、その辺をお聞かせいただ  
ければ幸いです。

谷口 まず、弊社は、いろいろな  
方が働いておられて、日本人よ  
りも圧倒的に外国人の方が多いで  
す。もともとバックグラウンド（国  
籍、出身、宗教など）は一切不問  
です。社会課題をITなどのテクノ  
ロジーや創意工夫で解決すること  
を会社のモットーとしています。  
社会課題でなくても、自分で課題  
を見つけ、それを解決していく、



ちょっと大きな言葉で言うと、世の  
中をよくしていくという姿勢を持  
っている方であれば、率直に申し上げ  
てどなたでも大歓迎というところ  
があります。なお申し上げますと、そ  
ういった姿勢の方が集まっています  
ので、お互い刺激し合って、何らか  
の形で関与していただけるのであれば、  
成長していただけると思っています。

三輪 国際展開をされているわけな  
ので、会社として使われる共通言語  
というのはやはり英語なのでしょう  
か。

谷口 そうです。基本的に日本語が

(左下に続く)



谷口 大歓迎です。今、インターン  
シップで来ていただいている方もノ  
ンジャパニーズスピーカーですが、  
大活躍しています。ぜひ来ていただ  
けると嬉しいです。

三輪 現在 JD で協働教育を行って  
いる相手国が、新興国のマレーシア  
と北東インドです。谷口様の事業は、  
新興国の地域おこしに直接つながる  
と思いますので、非常に興味を持  
っております。今の事業を他の国へ適  
用する可能性というのはいかがで  
しょうか。

谷口 今はフィリピンで行って  
おり、モザンビークでも間もなく実証  
実験を開始しますが、他の国でも適  
用できます。農家を取り巻く状況と  
いうのは同様な状況ですので、フィ  
リピン、モザンビークで軌道に乗  
りましたら、東南アジア、アフリカ  
にも今後展開していきます。農業を中  
心とした課題解決になりますが、発  
展途上国の産業の大部分は農業が占  
めていますので、農業の改善は、す  
なわち地域おこしになり、国おこし

できない方も働いていますので。日  
本語になっちゃう人もいますが、な  
るべく英語で話すように私から  
はお願いしています。基本的に英  
語です。

三輪 岐阜大学の JD の教育シス  
テムの中に、インターンシップとい  
う必須科目があるんですが、当然海  
外の学生も JD 生としてしますので、  
英語でということになるんですが、  
こうしたインターンシップの受け入  
れというのでも可能でしょうか。

になります。弊社に参加いただく方  
は、そういった非常に大きな社会貢  
献をすることになると信じています。

三輪 谷口様、今日はいろいろとあ  
りがとうございました。

谷口 ありがとうございます。

本内容はグローバル推進機構 HP でもご覧いただけます。

国際交流へのご支援・ご協力について

岐阜大学では、ジョイント・ディグリー  
プログラムに限らず、様々な国際交流事業  
を行っております。海外渡航に対する奨学金  
制度、留学生へのサポート等、教育・研究  
の国際化を図るためのご支援・ご協力をお  
願い致します。

\*岐阜大学基金（特定事業：国際交流事業）



Gifu University Organization for Promotion of Globalization  
**GU-GLOCAL**

問合せ先

岐阜大学グローバル推進機構 国際総務室  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1  
TEL: 058-293-3351  
E-mail: kokusaik@gifu-u.ac.jp